

区	分	項	目	新千里南町近隣センターバックヤード舗装改修工事 特記仕様書																					
総	則	摘	要	<p>(適用)</p> <p>本工事の施工にあたっては、本特記仕様書によるほか、大阪府都市整備部の「土木請負工事必携」(「土木工事共通仕様書」、「土木工事共通仕様書附則」、「土木工事施工管理基準」及び提出書類様式、各種基準・要綱等をいう。)によるものとし、原則として契約前に入札公告(随意契約による場合は見積り依頼)時における本特記仕様書交付開始日での最新版を適用するものとする。ただし、それ以降に改正等があった場合は、契約期間中に受発注者間で協議の上、必要に応じて最新版の適用に代えるものとする。</p> <p>なお、土木請負工事必携は以下のホームページに掲載している。</p> <p>(https://www.pref.osaka.lg.jp/jigyokanri/giken/index.html)</p> <p>(優先順位)</p> <p>建設工事請負契約書第1条に定める設計図書の優先順位は、①質問回答書(連絡事項登録を含む。)、②特記仕様書、③図面(数量総括表を含む。)、④土木工事共通仕様書附則、⑤土木請負工事必携(④を除く。)とする。</p> <p>(見積参考資料)</p> <p>設計図書のほかに提示する見積参考資料は、あくまでも見積の参考資料であり、入札参加者の適正・迅速な見積に供するため参考に示した一資料に過ぎず、契約上の拘束力を何ら生じるものではない。このため、施工方法等工事目的物を完成させるために必要な一切の手段については、受注者がその責任において定めること。工事の実施に当たっては、この趣旨を十分に理解し、事故発生等を招かないよう、その防止措置に留意すること。</p>																					
工	期	<p>(工期日数)</p> <p>工期には、施工に必要な実日数(実働日数)以外に以下の事項を見込んでいる。</p> <table border="1"> <tr> <td>①準備期間</td> <td>60日間</td> </tr> <tr> <td>②後片付け期間</td> <td>20日間</td> </tr> <tr> <td>③雨休率</td> <td>1.7</td> </tr> <tr> <td>④地元調整等による工事不可期間</td> <td>調整中</td> </tr> <tr> <td>⑤年末・年始抑制期間</td> <td></td> </tr> </table> <p>ただし、工事発注後に抑制期間に変更が生じた場合は監督職員より指示するものとする。</p>				①準備期間	60日間	②後片付け期間	20日間	③雨休率	1.7	④地元調整等による工事不可期間	調整中	⑤年末・年始抑制期間											
①準備期間	60日間																								
②後片付け期間	20日間																								
③雨休率	1.7																								
④地元調整等による工事不可期間	調整中																								
⑤年末・年始抑制期間																									
4週8休の取組み	<p>【発注者指定型】</p> <p>本工事の実施にあたっては、受発注者双方が綿密な工程調整を行うことにより、原則、週休2日を確実に取得できるような施工計画を作成した上で工事に着手しなければならない。また、工事現場において4週8休対象工事である旨を工事看板等で明示するよう努めるものとする。</p> <p>なお、地域住民対応等で土曜日・日曜日の施工が必要となった場合は、監督員と協議のうえ、振替休日を取得することにより、4週あたり8日間の休工期(書類整理等内業も行わない)を確保するよう努めなければならない。</p> <p>この場合、休日(夜間)作業承諾書に必要事項を記載し、監督職員の承諾を得ること。</p> <p>また、本工事は4週8休の取得に係る費用を計上しているが、達成状況に応じて契約変更を行う。</p> <p>※4週8休工事実施要領は大阪府都市整備部「技術情報」のホームページに掲載している。</p> <p>(https://www.pref.osaka.lg.jp/jigyokanri/giken/4syu8kyu_kouji.html)</p>																								
工 事 の 着 手	<p>(工期始期日)</p> <p>本工事の着手は、隣接店舗管理者及び居住者との調整を要するため、調整完了後の着手とする。</p>																								
建 設 副 産 物	<p>(特定建設資材の分別解体等・再資源化等への適切な措置)</p> <p>本工事における特定建設資材の分別解体等・再資源化等については、以下の積算条件を設定しているが、工事請負契約書の「解体工事に要する費用等」に定める事項は契約締結時に発注者と受注者の間で確認されるものであるため、発注者が積算上条件明示した以下の事項と別の方法であった場合でも変更の対象としない。ただし、工事発注後に明らかになった事情により、予定した条件により難しい場合は、監督職員と協議するものとする。</p> <p>① 分別解体等の方法</p> <p>(建築物以外のものに係る解体工事又は新築工事等(土木工事等)の場合)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>工 程</th> <th>作 業 内 容</th> <th>分別解体等の方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①仮設</td> <td>仮設工事 □有 ■無</td> <td>□手作業 □手作業・機械作業の併用</td> </tr> <tr> <td>②土工</td> <td>土工事 □有 ■無</td> <td>□手作業 □手作業・機械作業の併用</td> </tr> <tr> <td>③基礎</td> <td>基礎工事 □有 ■無</td> <td>□手作業 □手作業・機械作業の併用</td> </tr> <tr> <td>④本体構造</td> <td>本体構造の工事 □有 ■無</td> <td>□手作業 □手作業・機械作業の併用</td> </tr> <tr> <td>⑤本体付属品</td> <td>本体付属品の工事 □有 ■無</td> <td>□手作業 □手作業・機械作業の併用</td> </tr> <tr> <td>⑥その他 (アスファルト他)</td> <td>その他の工事 ■有 □無</td> <td>□手作業 ■手作業・機械作業の併用</td> </tr> </tbody> </table> <p>※「分別解体等の方法」の欄については、該当がない場合は記載の必要はない</p>				工 程	作 業 内 容	分別解体等の方法	①仮設	仮設工事 □有 ■無	□手作業 □手作業・機械作業の併用	②土工	土工事 □有 ■無	□手作業 □手作業・機械作業の併用	③基礎	基礎工事 □有 ■無	□手作業 □手作業・機械作業の併用	④本体構造	本体構造の工事 □有 ■無	□手作業 □手作業・機械作業の併用	⑤本体付属品	本体付属品の工事 □有 ■無	□手作業 □手作業・機械作業の併用	⑥その他 (アスファルト他)	その他の工事 ■有 □無	□手作業 ■手作業・機械作業の併用
工 程	作 業 内 容	分別解体等の方法																							
①仮設	仮設工事 □有 ■無	□手作業 □手作業・機械作業の併用																							
②土工	土工事 □有 ■無	□手作業 □手作業・機械作業の併用																							
③基礎	基礎工事 □有 ■無	□手作業 □手作業・機械作業の併用																							
④本体構造	本体構造の工事 □有 ■無	□手作業 □手作業・機械作業の併用																							
⑤本体付属品	本体付属品の工事 □有 ■無	□手作業 □手作業・機械作業の併用																							
⑥その他 (アスファルト他)	その他の工事 ■有 □無	□手作業 ■手作業・機械作業の併用																							

区	分	項	目	新千里南町近隣センターバックヤード舗装改修工事 特記仕様書																				
				<p>② 再資源化等をする施設の積算上の所在地</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>特定建設資材 廃棄物の種類</th> <th>所在地</th> <th>受入条件</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>アスファルト塊(掘削)</td> <td>茨木市大字泉原650番地1</td> <td>8時00分 ～17時00分</td> <td></td> </tr> <tr> <td>廃路盤材(クラッシャーラン)</td> <td>茨木市大字泉原650番地1</td> <td>8時00分 ～17時00分</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>※上記②については積算上の条件明示であり、再資源化施設を指定するものではない。 なお、受注者の提示する施設と異なる場合においても設計変更の対象としない。ただし、現場 条件や数量の変更等、受注者の責によるものでない事項についてはこの限りではない。</p>	特定建設資材 廃棄物の種類	所在地	受入条件	摘要	アスファルト塊(掘削)	茨木市大字泉原650番地1	8時00分 ～17時00分		廃路盤材(クラッシャーラン)	茨木市大字泉原650番地1	8時00分 ～17時00分									
特定建設資材 廃棄物の種類	所在地	受入条件	摘要																					
アスファルト塊(掘削)	茨木市大字泉原650番地1	8時00分 ～17時00分																						
廃路盤材(クラッシャーラン)	茨木市大字泉原650番地1	8時00分 ～17時00分																						
		施 工 管 理		<p>(試験・規格値) 本工事の施工に伴い実施する品質管理試験は、土木工事施工管理基準及び規格値によるものとする。 品質及び出来形の規格値は、土木工事施工管理基準及び規格値によるものとする。</p>																				
		工事中の安全確保		<p>(近隣施工) 本工事区間に隣接して店舗や住居、幼稚園施設があるため、工事施工に際しては、騒音・振動に気を 付け隣接者に支障をおよぼさないようにすること。 (電線共同溝等の埋設管路等の事故防止) 1. 本工事現場内には、下水道施設、ガス管の埋設があるため、施工計画書において事故防止計画とし て下記事項を記載するものとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事故防止管理者 ・埋設箇所の確認方法(地中探査機含む) ・近接部の工事施工方法(仮設計画含む) ・作業上の留意事項及び作業員への周知方法 ・事故発生時の連絡体制及び即応体制 ・その他必要な事項 																				
		交 通 安 全 管 理		<p>(保安施設) 本工事で使用する保安施設については、「道路工事保安施設設置基準(案)」によるものとする。なお、 保安施設標準様式図7-⑦の表示内容は以下を記入するものとする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>〔表示内容〕 この工事は、舗装路面の破損や不陸を解消し、平坦で快適な道路とする ための修繕工事を行っています。</p> </div> <p>(交通誘導警備員の配置について) 交通誘導警備員の配置条件については、下表のとおりとし、道路管理者及び所轄警察署の打合せの 結果又は、条件変更等に伴い員数に増減が生じた場合は、監督職員と協議するものとし、設計変更の対 象とする。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>工 種</th> <th>配置場所</th> <th>交通誘導警備員</th> <th>編 成</th> <th>交代要員</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>全工種</td> <td>全区間</td> <td>5人(総勢)</td> <td>交通誘導警備員B</td> <td>無し</td> <td>昼間</td> </tr> </tbody> </table> <p>※「高速自動車国道」、「自動車専用道路」及び「都道府県公安委員会が道路における危険を防止するために必要と認めた認定 道路」において、警備業者による交通誘導警備業務を行う場合、交通誘導警備業務検定[1級又は2級]の合格証明証の交付を 受けた警備員の配置が必要となる。なお、交通誘導警備員A,Bの定義は以下のとおり。 ・交通誘導警備員A: 警備業者の警備員(警備業法第2条第4項に規定する警備員をいう。)で交通誘導警備業務(警備員等の検 定等に関する規則第1条第4号に規定する交通誘導警備業務をいう。)に従事する交通誘導警備業務に係る1級検定合格警備員 又は2級検定合格警備員。 ・交通誘導警備員B: 警備業者の警備員で、交通誘導警備員A以外の交通の誘導に従事するもの。</p>	工 種	配置場所	交通誘導警備員	編 成	交代要員	備 考	全工種	全区間	5人(総勢)	交通誘導警備員B	無し	昼間								
工 種	配置場所	交通誘導警備員	編 成	交代要員	備 考																			
全工種	全区間	5人(総勢)	交通誘導警備員B	無し	昼間																			
		官公庁への手続等		<p>(支障物件等) 本工事区間内の支障物件は下表のとおりである。受注者は各企業と連絡を十分行うこと。また、移設 時期等を延期するような場合は設計変更の対象とする。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>支 障 物 件</th> <th>管 理 者</th> <th>埋 設 位 置</th> <th>企業者との協議</th> <th>立 会</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>下水管</td> <td>豊中市</td> <td>施工箇所内</td> <td>協議中</td> <td>要</td> </tr> <tr> <td>水道管</td> <td>豊中市</td> <td>施工箇所内</td> <td>協議中</td> <td>要</td> </tr> <tr> <td>ガス管</td> <td>大阪ガス</td> <td>施工箇所内</td> <td>協議中</td> <td>要</td> </tr> </tbody> </table> <p>本工事区間において、現在豊中市、大阪ガスとの協議を実施予定となっており、協議結果により変更が 生じた場合は設計変更の対象とする。</p>	支 障 物 件	管 理 者	埋 設 位 置	企業者との協議	立 会	下水管	豊中市	施工箇所内	協議中	要	水道管	豊中市	施工箇所内	協議中	要	ガス管	大阪ガス	施工箇所内	協議中	要
支 障 物 件	管 理 者	埋 設 位 置	企業者との協議	立 会																				
下水管	豊中市	施工箇所内	協議中	要																				
水道管	豊中市	施工箇所内	協議中	要																				
ガス管	大阪ガス	施工箇所内	協議中	要																				

区分	項目	新千里南町近隣センターバックヤード舗装改修工事 特記仕様書
材	工事材料の品質・ 検 査（ 確 認 ）	<p>（品質証明書等）</p> <p>受注者は、工事に使用する材料のうち土木工事施工管理基準 品質管理基準及び規格値に示す材料の他に、材料及び監督職員の指示した材料の使用にあたっては、その外観及び品質証明書等を照合して確認した資料を事前に監督職員に提出し、確認を受けなければならない。</p> <p>工事材料については、施工計画書に材料名、品質、規格等を記載するものとする。</p>
そ の 他		<p>※受注後現地測量を実施し、縦横断測量データ内容については監督職員と確認すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・測量により雨水排水計画を立てること。（勾配） ・積算数量と差異がある場合は、変更協議の対象とします。 ・本工事箇所に隣接して店舗や住居があるので、人・車等の出入り時には協力すること。 ・工事施工の際には、音・振動には十分気を付け作業を実施すること。 <p>不要な音、振動の発生、エンジンの空吹き等には、十分気を付けること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本工事箇所への出入口に交通誘導警備員を置き交通誘導等を行うこと。 ・施工範囲内で通行者等の対応に交通誘導警備員を配置する。